

Ⅱ－２【衛生環境試験所編】

事業の概要と実績

１ 試験検査

(1) 感染症等検査（平成8年度開始 平成31年度予算：10,436千円 一部国補助）

ア 感染症検査（平成11年度開始）

【事業の目的・内容】

「感染症法」に基づき、ノロウイルスやロタウイルス等を原因とする感染性胃腸炎等の患者発生時に、病原体及び感染経路の解明と感染拡大防止のために、患者や接触者等の便等の検査を実施する。

(保健所編 感染症の発生・まん延防止対策の実施 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》 感染症検査実施状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
検体数		166	156	143
項目数計		166	219	206
検査項目	赤痢菌	1	3	6
	腸管出血性大腸菌	16	23	26
	ノロウイルス	138	125	109
	サポウイルス	-	21	18
	ロタウイルス	-	21	31
	アデノウイルス	-	21	16
	コレラ	2	-	-
	インフルエンザ	4	5	-
	結核	5	-	-

※医療機関から送付された菌株を含む（性状確認後、国へ送付）

イ 感染症発生動向調査事業に係る検査（平成11年度開始）

【事業の目的・内容】

感染症発生動向調査は、「感染症法」に基づき、全国規模で実施されている。本市においても、医療機関の協力を得て、感染症の流行実態を早期かつ的確に把握することにより、予防措置を講ずることを目的に、病原体検査を実施する。

(保健所編 感染症発生動向調査事業 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12～16条 宇都宮市感染症発生動向調査事業実施要綱 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》感染症発生動向調査に係る検査実施状況

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
検体数		30	37	98
項目数計		38	37	127
検査項目	急性脳炎	8	9	18
	インフルエンザ	14	14	30
	麻疹	6	-	24
	風疹	6	-	25
	突発性発疹	-	-	2
	伝染性紅斑	2	-	3
	溶血性レンサ球菌			3
	E型肝炎			1
	ツツガムシ			2
	ライム病	1	-	-
	デング熱	1	-	-
	レジオネラ属菌	-	-	2
	レストスピラ症	-	-	-
	細菌性赤痢			1
	腸管出血性大腸菌	-	7	14
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌		7	2	

※医療機関から送付された菌株を含む(性状確認後、国へ送付)

ウ HIV・性感染症検査（平成 8 年度開始）

【事業の目的・内容】

感染症の早期発見・早期治療及び二次感染の防止を推進し、そのまん延を防止することを目的に検査を実施する。

(保健所編 エイズ・性感染症・ウイルス性肝炎の検査・相談 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 宇都宮市H I V・性感染症・ウイルス性肝炎検査及び相談実施マニュアル 宇都宮市保健センターH I V・性感染症・ウイルス性肝炎検査及び相談実施マニュアル 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》性感染症検査実施状況

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
受診者数		596	608	825	
HV検査		590	591	810	
梅毒検査		555	586	787	
項目数	HV検査	1次	590	591	1,620*
		2次	3	2	-
		確認	2	1	4
	梅毒検査	1次	1,110	1,172	1,574
		2次	1	-	-
計		1,706	1,766	3,198	

※平成 30 年度より HIV 検査の一次検査は、抗体検査に加え抗原検査を実施

エ 結核菌感染診断検査（クオンティフェロン（QFT）検査）（平成 18 年度開始）

【事業の目的・内容】

結核については、地域的偏在や集団発生の散発等がみられ、これらに対応した保健医療体制の確保が要請されている。

QFT検査は既往のBCG接種の影響を受けないことから、感染者の接触者等二次患者の結核感染の有無の参考となる。効果的な予防・まん延防止のため、QFT検査を実施する。

（保健所編 結核発生動向調査事業 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》QFT(IGRA)検査実施状況

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
受診者数		328	215	440
判 定	陽性	44	20	35
	判定保留	21	7	31
	陰性	263	188	374

オ 風しん抗体検査（平成 26 年度開始）

【事業の目的・内容】

「宇都宮市風しん抗体検査及び相談事業」により、検査及び相談や保健指導を実施し、風しん感染に対する不安の軽減を図るとともに、必要に応じた予防接種の勧奨を行い、先天性風しん症候群の発生を予防することを目的に検査を実施する。

（保健所編 風しん抗体検査・相談 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
宇都宮市風しん抗体検査及び相談実施要領 宇都宮市風しん抗体検査及び相談実施マニュアル	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
受診者数		259	250	961
EIA価	8.0以上	162	154	625
	8.0未満	97	96	336

カ 利用水検査（平成 8 年度開始）

【事業の目的・内容】

「レジオネラ症防止指針」に基づき、利用水のレジオネラ属菌の検査を実施する。また、衛生管理を評価・指導するため、「公衆浴場法」、「旅館業法」に基づき浴槽水の大腸菌群、「遊泳用プール衛生指導要綱」に基づき採暖槽水、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき、冷却塔水の大腸菌の検査を実施する。

(保健所編 生活衛生施設等の監視・指導の充実 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
公衆浴場法，旅館業法， 建築物における衛生的環境の確保に関する法律， 宇都宮市遊泳用プール衛生指導要綱 等	生活衛生課 食品・環境衛生グループ

《実績》

① 利用水検査状況

検体	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
浴槽水	128	346	113	299	122	340
採暖槽水	8	32	6	24	8	32
冷却塔水	24	72	20	60	20	60
計	160	450	139	383	150	432

② 利用水検査項目

	浴槽水	採暖槽水	冷却塔水	計
レジオネラ属菌	122	8	20	150
大腸菌群数	96	0	0	96
大腸菌	0	8	20	28
アメーバ	122	8	20	150
一般細菌数	0	8	0	8
計	340	32	60	432

キ 国民健康栄養調査（平成 8 年度開始）

【事業の目的・内容】

国民健康栄養調査に係る血液化学検査及び血糖検査に協力する。

(保健所編 国民健康・栄養調査の実施 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
健康増進法 等	健康増進課 健康づくりグループ

《実績》

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
検体数	88*	20	0

※平成 28 年度は，国民健康栄養調査のほかに，県民健康栄養調査についても実施

(2) 食品等検査（平成 8 年度開始 平成 31 年度予算：16,613 千円）

ア 食品収去等検査（平成 8 年度開始）

【事業の目的・内容】

「食品衛生法」に基づき，保健所が食品衛生監視指導計画により実施する収去検査と買上げ検査，食中毒調査関連の検査を実施している。また，市内食品業者や中央卸売市場の包丁やまな板等のふきとり検査及び市内の食肉供給拠点施設の食肉汚染実態調査を実施する。

(保健所編 食品収去の実施 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
食品衛生法, 乳及び乳製品の成分規格等に関する省令, 宇都宮市農畜水産食品残留有害物質検査実施要領 等	生活衛生課食品衛生グループ 食肉衛生検査所, 中央卸売市場

《実績》食品等検査実施状況まとめ

依頼課	検査分類	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
生活衛生課	食品収去等	1, 136	17, 250	1, 231	14, 631	1, 243	14, 531
	食中毒	191	1, 816	364	3, 549	294	3, 105
	苦情等	0	0	0	0	0	0
食肉衛生検査所	食肉の残留農薬	6	18	6	18	6	18
保健所総務課	家庭用品	23	26	23	26	23	26
中央卸売市場	放射性物質	1	1	0	0	0	0

※平成 30 年度食品収去等内訳: 買上げ(18 検体, 72 項目), ふき取り(60 検体, 120 項目))を含む。

《項目別実績》

① 微生物検査の実施状況

生鮮食品や加工品等について, 成分規格, 衛生規範, その他衛生状態の確認等に係る細菌等の検査を行う。

	冷凍食品	弁当・そうざい	魚介類及び加工品	肉類及び加工品	野菜及び加工品	果実及び加工品	麺類	菓子類	清涼飲料水	氷菓	いけすの水	ふきとり	計
検体数	40	120	91	20	38	2	23	78	11	4	38	60	525
項目数計	80	308	127	60	104	4	69	234	11	8	38	120	1, 163
細菌数	40	120	12		10	2	23	78		4			289
大腸菌群	17		27				7	78	11	4		60	204
大腸菌 (E coli)	23	94		20	28		16						181
大腸菌最確数			12										12
腸管出血性大腸菌					38	2							40
腸球菌													
緑膿菌													
黄色ブドウ球菌		94		20			23	78					215
サルモネラ属菌				20									20
腸炎ビブリオ					28						38	60	126
腸炎ビブリオ最確数			63										63
クロストリジウム属菌													
カンピロバクター属菌													
リステリア													
ノロウイルス			12										12
アニサキス			1										1

[結果]衛生規範不適合: 洋生菓子(大腸菌群検出 4 件, 黄色ブドウ球菌検出 1 件, 細菌数超過 5 件),

弁当・そうざい(E.coli 検出 3 件, 黄色ブドウ球菌検出 2 件, 細菌数超過 1 件)

成分規格違反 : 冷凍食品 (細菌数超過 1 件)

その他 : ふきとり (大腸菌群検出 34 件)

② 食品添加物検査実施状況

加工食品に使用される保存料や甘味料，着色料等の食品添加物の使用基準の検査を行った。

	そうざい	魚介類及び加工品	肉類及び加工品	果実及び加工品	野菜及び加工品	豆類及び加工品	穀類及び加工品	麺類	菓子類	清涼飲料水	調味料	計
検体数	10	73	20	32	64	20	11	16	40	11	20	317
項目数計	42	628	51	322	781	56	99	16	104	82	40	2,221
保存料	ソルビン酸	20	53	20	24	64	14	11			11	217
	安息香酸									11		11
	パラオキシ安息香酸エステル類									11	9	20
甘味料	サッカリンナトリウム	10	27			48	8				20	113
	サイクラミン酸								40			40
発色剤	亜硝酸根		20	20								40
漂白剤	二酸化硫黄				13	9	10	4				36
品質保持剤	プロピレングリコール							16				16
酸化防止剤	TBHQ								40			40
合成着色料	酸性タール系色素 12種類	12	528	11	264	660	24	84	24	60		1,667
防かび剤	アゾキシストロピノン				3							3
	イマザリル				3							3
	オルトフェニルフェノール				3							3
	ジフェニル				3							3
	チアベンダゾール				3							3
	ピリメタニル				3							3
	フルジオキソニル				3							3

〔結果〕使用基準：一夜漬け(保存料基準超過 1 件)，表示無し：漬物(着色料検出 1 件)

③ 乳及び乳製品検査実施状況

乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づき，成分規格の検査を行った。

	牛乳	低脂肪牛乳	乳飲料	発酵乳 乳酸菌飲料	アイスクリーム類	計
検体数	15		14	20	16	65
項目数計	90		28	40	32	190
細菌数	15		14		16	45
大腸菌群	15		14	20	16	65
酵母及び 乳酸菌数				20		20
比重	15					15
酸度	15					15
乳脂肪分	15					15
乳固形分						
無脂乳固形分	15					15

④ 残留農薬検査の実施状況

食品中に残留する農薬などが、基準を超えて人の健康に害を及ぼすことのないよう、規格基準の検査を行った。

残留農薬の検査可能項目一覧[328項目]

1	2-(1-ナフチル) アセタミド	※★	83	クロロエトキシホス	※★	165	デキサメトリン及びトラロメトリン	※★	247	フルシトリネート	※★
2	HCC	※★	84	クロルタールジメチル	※★	166	デルブトリン	※★	248	フルシラゾール	※★
3	DD	※★	85	クロルピリホス	※★	167	デルブホス	※★	249	フルチアセトメチル	※★
4	E.P.N	※★	86	クロルピリホスメチル	※★	168	トラロコキシジム	※	250	フルトラニル	※★
5	MPB	※	87	クロルフェニル	※★	169	トリアジメノール	※★	251	フルトリアホール	※★
6	HMB	※★	88	4-クロルフェノキシ酢酸 (4-CPA)	※	170	トリアジメホシ	※★	252	フルバリネート	※★
7	DMC	※★	89	クロルフェンソル	※★	171	トリアゾホス	※★	253	フルフェノクスロン	※★
8	γ-BHC (リンデン)	※★	90	クロルフェンピホス	※★	172	トリアレート	※★	254	フルフェンピルエチル	※★
9	イオキシニル	※	91	クロルプロファミ	※★	173	トリクロピル	※	255	フルミオキシジン	※★
10	アクリナトリン	※★	92	クロルフルアズロン	※★	174	トリシクラゾール	※★	256	フルミクロラックベンチル	※★
11	アザコナゾール	※★	93	クロルプロファミ	※★	175	トリチコナゾール	※	257	フルメツラム	※
12	アゼメチホス	※★	94	クロルベンシド	※★	176	トリヂメルフ	※	258	フルリジン	※★
13	アゾフルオルフェン	※	95	クロルクロスロン	※★	177	トリブホス	※★	259	フルロキシピル	※
14	アズンホスメチル	※★	96	クロルホズ	※★	178	トリフルムロン	※	260	プレチラクロール	※★
15	アセタミプリド	※★	97	クロロベンジレート	※★	179	トリフルラリン	※★	261	プロシミドン	※★
16	アセフェート	※	98	シアナジン	※★	180	トリフロキシストロピン	※★	262	プロチオホス	※★
17	アゾキシストロピン	※★	99	シアノホス	※★	181	トルクロホスメチル	※★	263	プロバキザホップ	※
18	アトラジン	※★	100	ジクロロ	※★	182	トルフェンピラド	※★	264	プロバジン	※★
19	アニコホス	※★	101	ジエトフェンカルブ	※★	183	1-ナフタレン酢酸	※	265	プロバニル	※★
20	アネトリン	※★	102	ジオキサチオン	※★	184	ナゾリアニド	※★	266	プロバホス	※★
21	アフラロール	※★	103	シクロエート	※	185	ナゾロバミド	※★	267	プロバキッド	※★
22	アタマイト	※★	104	ジクロシメット	※★	186	ニトロタールイソプロピル	※★	268	プロピコナゾール	※★
23	アルドリシ及びディルドリン	※★	105	ジクロスラム	※	187	ノバピロン	※	269	プロピジミド	※★
24	アレスリン	※★	106	ジクロトホス	※★	188	バクログラゾール	※★	270	プロヒドロジキスモン	※★
25	イメゾホス	※★	107	ジクロフェンチオン	※★	189	バチチオン	※★	271	プロフェノホス	※★
26	イソキサチオン	※★	108	ジクロラフアニド	※★	190	バチチオンメチル	※★	272	プロボキスル	※★
27	イソキサチオンキソソ	※★	109	ジクロホップメチル	※★	191	ハルフェンブロックス	※★	273	プロマシリン	※★
28	イソフェンホス	※★	110	ジクロラン	※★	192	ハロキシホップ	※	274	プロメトリン	※★
29	イソプロカルブ	※★	111	ジクロルホップ	※★	193	ヒヨリナフエン	※★	275	プロモキシニル	※
30	イソプロチオラン	※★	112	ジクロール	※★	194	ピタルノール	※★	276	プロモプロピレート	※★
31	イブプロバリアルブ	※★	113	ジスルホトシ	※★	195	ピフェノックス	※★	277	プロモホス	※★
32	イブペンホス	※★	114	シヂロホシ	※★	196	ピフェントリン	※★	278	プロモホスエチル	※★
33	イマザキン	※	115	シニドニエチル	※★	197	ピペロニルブトキシド	※★	279	ヘキサコナゾール	※★
34	イマザタタメチルエステル	※★	116	シハロトリン	※★	198	ピルホホス	※★	280	ヘキサジノ	※★
35	イマザリル	※★	117	シハロホップチル	※★	199	ピラクロストロピン	※	281	ヘキサフルムロン	※★
36	イミダクロプリド	※★	118	ジフェナミド	※★	200	ピラクロホス	※★	282	ヘキサチアゾクス	※
37	イミベンコナゾール	※★	119	ジフェノコナゾール	※★	201	ピラゾホス	※★	283	ベナラキシル	※★
38	インダノファン	※	120	シフルトリン	※★	202	ピラゾリネート	※★	284	ベノキサコール	※★
39	インドキサカルブ	※★	121	シフルフェナミド	※★	203	ピラフルフェンエチル	※★	285	ヘブタクロル	※
40	エスロカルブ	※★	122	ジフルフェニオン	※★	204	ピリダフェンチオン	※★	286	ベルゲン (エチラン)	※★
41	エタルフルラリン	※★	123	ジフルベンズロン	※★	205	ピリダベン	※★	287	ベルメトリン	※★
42	エチオフェンカルブ	※★	124	シフロコナゾール	※★	206	ピリフェノックス	※★	288	ベンコナゾール	※★
43	エチオジン	※★	125	シフロジニル	※	207	ピリフタリド	※★	289	ベンシクロン	※
44	エチオフェンホス	※★	126	シフルメトリン	※★	208	ピリブチカルブ	※★	290	ベンシリド	※★
45	エトキサゾール	※★	127	シマジン	※★	209	ピリプロキシフェン	※★	291	ベンゾフェナップ	※★
46	エトフェンブロックス	※★	128	シメコナゾール	※★	210	ピリミカブ	※★	292	ベンダイオカルブ	※★
47	エトプロホス	※★	129	ジメタメトリン	※★	211	ピリミノバククメチル	※★	293	ベンディメタリン	※★
48	エトリムホス	※★	130	ジメチピル	※★	212	ピリミホスメチル	※★	294	ベンフルラリン	※★
49	エボキシコナゾール	※★	131	ジメチチモール	※★	213	ピリメタニル	※★	295	ベンプレセート	※★
50	エンドスルファン	※★	132	ジメチナミド	※★	214	ピロキロン	※★	296	ホサロン	※★
51	エンドスルファンシルフェート	※★	133	ジメトエート	※★	215	ピロクロゾリン	※★	297	ボスカリド	※
52	エンドリン	※★	134	ジメトメルフ	※	216	フィプロニル	※★	298	ホスチアゼート	※★
53	オキサジアゾン	※★	135	シメトリン	※★	217	フェナミホス	※★	299	ホスファミン	※★
54	オキサジキシル	※★	136	ジピペレート	※★	218	フェナチモル	※★	300	ホスメット	※★
55	オキサジクロメホシ	※	137	シフルオフェン	※★	219	フェニトロチオン	※★	301	ホメサフェン	※
56	オキサニル	※★	138	スピノサド	※	220	フェノキニル	※★	302	ホルグロルフェニル	※
57	オキシカルボキシ	※★	139	スピロキサミン	※★	221	フェノキシカルブ	※★	303	ホルモチオン	※★
58	オキシフルオルフェン	※★	140	スピロジクロフェン	※★	222	フェノチオカルブ	※★	304	ホレート	※★
59	オリザリン	※★	141	ゾキサミド	※★	223	フェントリン	※★	305	ワラチオン	※★
60	カクサホス	※★	142	ターバシ	※★	224	フェノプロカルブ	※★	306	ミクロブタニル	※★
61	カフェンストロール	※★	143	ダイアジン	※★	225	フェリムゾン	※★	307	メカルバム	※★
62	カルバリル	※★	144	ダイアレート	※★	226	フェンアミド	※★	308	メコプロップ	※★
63	カルファントラゾニエチル	※★	145	ダイムロン	※★	227	フェンクロルホス	※★	309	メタベンズチアズロン	※
64	カルプロバミド	※★	146	チアクロプリド	※★	228	フェンフルホチオン	※★	310	メタミドホス	※★
65	カルボフラン	※★	147	チアベンダゾール	※	229	フェントエート	※★	311	メタキシロ及びメフェノキサム	※★
66	キナルホス	※★	148	チアメトキサム	※★	230	フェンバレート	※★	312	メチダチオン	※★
67	キノキシフェン	※★	149	チアベンカルブ	※★	231	フェンピロキシメート	※	313	メトキシクロル	※★
68	キノクラミン	※★	150	チオメトシ	※★	232	フェンコナゾール	※★	314	メトキシフェノジド	※
69	キヤブタン	※★	151	チジアズロン	※★	233	フェンプロバトリン	※★	315	メトフレン	※★
70	キントゼン	※★	152	チフルザミド	※★	234	フェンプロピルメルフ	※★	316	メトミメストロピル	※★
71	クミルロシ	※	153	テクナゼン	※★	235	フェンメデジアム	※★	317	メトラクロール	※★
72	クレンソキムメチル	※★	154	テトラクロルピホス	※★	236	フサライド	※★	318	メビホス	※★
73	クレンソキムセツトメキシル	※★	155	テトラコナゾール	※★	237	ブククロール	※★	319	メフェナセツト	※★
74	クロソリネート	※★	156	テトラホシ	※★	238	メタフェナシ	※★	320	メフェンピルジエチル	※★
75	クワチアジン	※★	157	テニルクロール	※★	239	プタミホス	※★	321	メブニル	※★
76	クロフェンデジン	※	158	テブコナゾール	※★	240	ブリリメート	※★	322	モノクロトホス	※★
77	クロアロップ	※	159	テブチクロ	※★	241	プロフェン	※★	323	モノリニエシ	※★
78	クロマゾン	※★	160	テブフェノジド	※★	242	フルムプロップメチル	※★	324	ラクトフェン	※★
79	クロマフェノジド	※★	161	テブフェンピラド	※★	243	フラメトピル	※	325	リニエシ	※
80	クロメブロップ	※★	162	テフルトリン	※★	244	フルアクリリム	※★	326	ルフェスロン	※★
81	クロラシラムメチル	※	163	テフルベンズロン	※★	245	フルフェンコナゾール	※★	327	レスメトリン	※★
82	クロリダゾン	※★	164	デメトン-S-メチル	※★	246	フルジオキソニル	※★	328	レナシリン	※★

・肉中の残留農薬として検査実施 ※農産物でのみ検査実施 ★輸入冷凍食品でのみ検査実施

残留農薬検査の実施状況

検体名	検体数	項目数計
かんきつ類	3	921
輸入野菜	1	298
アスパラガス	6	1,800
トマト	6	1,824
日本なし	6	1,848
にら	6	1,752
いちご	5	1,550
国産牛肉, 豚肉	6	18
輸入牛肉, 豚肉, 鶏肉	6	18
計	45	10,029

[結果]残留基準:超過無し

※残留農薬とは、農薬を使用した結果、食品や農産物あるいは動物飼料から検出されるあらゆる物質で、変換産物、代謝産物、反応産物、不純物など、農薬から生じた毒性学的に重要と思われるあらゆる派生物が含まれる。

⑤ 動物用医薬品検査

動物用医薬品が食品中に基準値を超えて残留していないか使用基準の検査を行う。

				あ ゆ	鶏 卵	輸 入 牛 豚 鶏 肉	は ち み つ	生 乳	計
検体数				5	4	6	4	339	358
項目数計				135	108	169	28	339	779
合成抗菌剤等 28項目	エトパペート	スルファジメトキシ	スルフィソキサゾール	115	92	145			352
	エンロフロキサシン	スルファチアゾール	ダノフロキサシン						
	オキシリニック酸	スルファドキシ	チアベンダゾール						
	オフロキサシン	スルファニトラン	チアンフェニコール						
	オルメトプリム	スルファピリジン	トリメトプリム						
	酢酸メレンゲステロール	スルファメトキサゾール	ピリメタミン						
	スルファキノキサリン	スルファメキンピリダジ	フルベンダゾール						
	スルファクロルピリダジ	スルファメラジン	5-プロピルスルホニル-1H-ベンズイミダゾール-2-アミン						
	スルファジアジン	スルファモノメトキシ	レバミゾール						
	スルファジミジン								
抗生物質 (スクリーニング) 5項目	マクロライド系	アミノグリコシド系		20	16	24	28		88
	ペニシリン系	テトラサイクリン系							
	ベンジルペニシリン								
								339	339

[結果]残留基準:超過無し

※動物用医薬品とは、治療・予防・診断目的で、あるいは生理的機能や挙動を改変する目的で、食肉用家畜や乳用家畜、家禽類、魚類、蜂など食品生産に用いられるあらゆる動物に適用もしくは投与されるあらゆる物質。

⑥ 食品に残留する有害物質検査

	清涼飲料水	魚介類	生あん	計
検体数	2	18	6	26
項目数	2	72	6	80
総水銀(メチル水銀含む)		18		18
有機スズ (TBIQ, DBI, TPI)		54		54
カビ毒 (パツリン)	2			2
シアン			6	6

[結果] 暫定基準: 全て基準超過等無し

⑦ 遺伝子組換え食品検査

安全が確認されていない遺伝子組換え食品の発見と、適正表示確認のための検査を実施している。なお、我が国での安全性審査により安全性が確認された遺伝子組換え食品についても組換え DNA(遺伝子)の含有量の確認を行う。

	コーンフラワー
検体数	3
項目数	6
定性	CHB51, B10
定量	B11, Bvent176, T25, Mn810, GA21

[結果] 定性試験: 全て陰性, 定量検査: 混入率が 5%を超えるもの無し

⑧ アレルギー物質(特定原材料)を含む食品検査

食品製造過程におけるアレルギー物質の混入を防ぐため、表示義務のある 7 品目の特定原材料(小麦, そば, 卵, 乳, 落花生, えび, かに)のうち、市内の製造工場で作られている食品について検査を実施する。

	麺類	菓子類	そうざい等	スープ等	計
検体数	20	10	7	4	41
項目数	20	10	7	4	41
そば	20				20
卵		10	7	4	21

[結果] 表示義務のある特定原材料の基準量 $10 \mu\text{g/g}$ を超える特定原材料の混入無し

⑨ 容器包装の検査実施状況

食品用器具・容器包装は食品と直接接触して使用されることから、化学物質等の溶出により食品が汚染されないよう配慮する必要があることから、規格基準検査を実施する。

	容器包装
検体数	8
項目数計	40
材質試験	カドミウム, 鉛
溶出試験	蒸発残留物, 過マンガン酸カリウム消費量, 重金属

[結果] 全て基準に適合

⑩ 食中毒(疑)関連検査の実施状況

食中毒及びその疑いがある事例について、便や食品等の検査を行う。

	食中毒			計
	食品	ふきとり	便	
検体数	75	124	95	294
項目数計	725	1,364	1,016	3,105
赤痢菌	65	124	91	280
サルモネラ属菌	65	124	91	280
ビブリオ属菌	65	124	91	280
黄色ブドウ球菌	65	124	91	280
病原大腸菌	65	124	91	280
カンピロバクター	65	124	91	280
ウェルシュ菌	65	124	92	281
セレウス菌	65	124	91	280
エルシニア菌	65	124	91	280
腸管出血性大腸菌	65	124	91	280
ノロウイルス	65	124	87	276
ノロウイルス遺伝子型別	0	0	18	18
ロタウイルス	0	0	0	0
真菌	0	0	0	0
その他	10	0	0	10

食中毒と断定された事件のうち、当所に検査依頼のあったもののまとめ

発生月	喫食者数	患者数	原因施設	原因食品等	病因物質	病因物質検出率
4月	19	11	飲食店	飲食店料理	ノロウイルス	食品 0/1 拭取 0/16 便 6/9
5月	315	200	給食施設	給食	ノロウイルス	食品 0/9 拭取 0/20 便 18/21
6月	198	24	給食施設	マグロフライ	ヒスタミン	食品 5/10

イ 家庭用品検査（平成10年度開始）

【事業の目的・内容】

家庭用品には、いろいろな種類の化学物質が様々な目的で使用されており、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、家庭用品に含まれる化学物質による健康被害を未然に防止するため検査を実施する。

(保健所編 家庭用品試買検査 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	保健所総務課 薬事グループ

《実績》家庭用品等の検査実施状況

	繊維製品（24ヶ月未満）	家庭用エアゾル製品	計
検体数	20	3	23
項目数計	20	6	26
ホルムアルデヒド	20		20
トリクロロエチレン		3	3
テトラクロロエチレン		3	3

[結果]全て基準に適合

(3) 環境検査（平成8年度開始 平成31年度予算：8,645千円 市単独）

市民が健康で安心、快適に暮らせるよう環境保全業務として、環境保全課の依頼により、河川等の公共水域や地下水、工場排水、ゴルフ場排水等の水質検査、工場・事業場等のばい煙や排出ガス中の揮発性有機化合物(VOC)濃度及び騒音・振動等の測定を実施している。

また、廃棄物対策課の依頼により、最終処分場周辺地下水等の水質調査や埋立地浸出水の水質検査、廃棄物の溶出試験等を実施している。

さらに、生活衛生業務として生活衛生課の依頼により、公衆浴場や採暖槽水及び冷却塔水等の水質検査を実施している。

ア 環境保全課関係

(ア) 水質検査

【事業の目的・内容】

① 公共用水域

河川事故等による水質異常等の発生時に「水質汚濁防止法」に基づき、河川等公共用水の検査を実施する。

② 地下水

テトラクロロエチレン等の揮発性有機化合物や六価クロム等の重金属類等による地下水汚染状況を調査するため、「地下水の水質汚染に係る環境基準」に基づき、地下水の水質検査を実施する。

③ 工場排水

「水質汚濁防止法」の排水基準監視のため、特定事業所等排水の水質検査を実施する。

根拠法令等	依頼課・グループ
水質汚濁防止法，地下水の水質汚染に係る環境基準 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》環境保全課関係水質検査実施状況のまとめ

検査分類	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
公共用水	23	42	14	55	32	54
地下水	41	132	26	76	25	56
工場排水	86	478	84	483	107	540
計	150	652	124	614	164	650

◇環境保全課関係水質検査項目一覧[48項目]

生活環境項目	1	pH	6	フェノール類	11	クロム
	2	BD	7	銅	12	大腸菌群数
	3	CD	8	亜鉛	13	窒素含有量
	4	SS	9	溶解性鉄	14	りん含有量
	5	n-ヘキサン抽出物質	10	溶解性マンガン		
健康項目	15	カドミウム	25	四塩化炭素	35	シマジン
	16	シアン	26	1,2-ジクロロエタン	36	チオベンカルブ
	17	有機りん化合物	27	1,1-ジクロロエチレン	37	ベンゼン
	18	鉛	28	シス-1,2-ジクロロエチレン	38	セレン
	19	六価クロム	29	1,1,1-トリクロロエタン	39	ほう素
	20	ヒ素	30	1,1,2-トリクロロエタン	40	ふっ素
	21	総水銀	31	トリクロロエチレン	41	アンモニウム化合物等合計量
	22	アルキル水銀	32	テトラクロロエチレン	42	1,4-ジオキサン
	23	ポリ塩化ビフェニル	33	1,3-ジクロロプロペン		
24	ジクロロメタン	34	チウラム			
その他	43	DO	46	TOC		
	44	電気伝導率	47	硬度		
	45	過マンガン酸カリウム消費量	48	塩化ビニルモノマー		

(イ) ゴルフ場農薬検査

【事業の目的・内容】

「ゴルフ場の農薬使用に係る水質調査実施要領」に基づき、9か所のゴルフ場について排水等の水質検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》 ゴルフ場農薬検査実施状況のまとめ

検査分類	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
計	15	285	13	291	13	330

◇ゴルフ場農薬検査項目一覧[30項目]

殺虫剤	1	EPN	6	クロラントラリニプロール	11	チオジカルブ
	2	アセタミプリド	7	ジノテフラン	12	ニテンピラム
	3	イソキサチオン	8	ダイアジノン	13	フェニトロチオン (MEP)
	4	イミダクロプリド	9	チアクロプリド	14	フェノブカルブ
	5	クロチアニジン	10	チアメトキサム	15	フルベンジアミド
殺菌剤	16	アゾキシストロビン	19	オキシシン銅 (有機銅)	22	チウラム (チラム)
	17	イソプロチオラン	20	クロロタロニル (TPN)	23	プロピコナゾール
	18	イプロベンホス (IBP)	21	ジアゾファミド		
除草剤	24	アシユラム	27	トリクロピル	30	MCPPカリウム塩, MCPPジメチルアミン塩, メコプロップPイソプロピルアミン塩 及びメコプロップPカリウム塩
	25	シマジン (CAT)	28	プロピザミド		
	26	チオベンカルブ	29	ペンディメタリン		

(ウ) 大気検査

【事業の目的・内容】

- ① ばい煙測定
「大気汚染防止法」に基づき、特定施設等のばい煙測定を実施する。
- ② VOC濃度測定
「大気汚染防止法」に基づき、特定施設等の排出ガス中のVOC濃度の測定を実施する。
- ③ 悪臭検査
「悪臭防止法」に基づき、特定施設及び施設周辺の測定を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
大気汚染防止法，悪臭防止法 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》大気等検査実施状況のまとめ

検査分類	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
ばい煙※	4	40	5	49	5	53
VOC濃度	3	3	2	2	2	2
臭気測定	2	2	3	3	4	4
計	9	45	10	54	11	59

※ばい煙検査項目一覧

ばい煙項目	硫黄酸化物	ばいじん量	酸素濃度
	窒素酸化物	排ガス流速	静圧
	湿り排ガス量	排ガス温度	鉛及びその化合物
	乾き排ガス量	塩化水素	全水銀

(エ) 騒音・振動検査

【事業の目的・内容】

市民からの相談による現場調査時に「騒音規制法」，「振動規制法」，「低周波音問題対応の手引書」に基づき，騒音・振動等の測定を行う。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
騒音規制法，振動規制法 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》騒音・振動等検査実施状況のまとめ

検査分類	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
騒音	-	-	1	1	2	2
振動	-	-	-	-	-	-
低周波	-	-	-	-	-	-
計	0	0	1	1	2	2

(オ) 土壌等検査

【事業の目的・内容】

「土壌汚染対策法」に基づき、土壌検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
土壌汚染対策法、底質調査方法 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》土壌等検査実施状況のまとめ

検査分類	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
土壌	10	32	-	-	-	-
底質	-	-	-	-	-	-
計	10	32	0	0	0	0

イ 廃棄物対策課関係

【事業の目的・内容】

(ア) 最終処分場周辺地下水及び埋立地浸出水等の水質検査

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、最終処分場周辺地下水等と埋立地浸出水の水質検査を実施する。

(イ) 土壌検査

「栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」に基づき、土砂等の検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例 等	環境部廃棄物対策課 指導グループ

《実績》廃棄物対策課関係検査等実施状況のまとめ

検査分類	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
水質	164	1,700	166	1,704	164	1,700
土砂等	-	-	-	-	-	-
計	164	1,700	166	1,704	164	1,700

◇廃棄物対策課関係検査項目一覧[浸出水：10項目]

水素イオン濃度	ひ素	ほう素
鉛	カドミウム	1,4-ジオキサン
六価クロム	ふっ素	BOD
総水銀		

◇廃棄物対策課関係検査項目一覧[地下水:46項目]

有害物質関係 28項目	カドミウム	シアン	有機りん
	鉛	六価クロム	ヒ素
	総水銀	アルキル水銀	ポリ塩化ビフェニル
	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン
	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン
	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン
	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン
	ほう素	ふっ素	1,4-ジオキサン
	アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物および硝酸化合物		
生活環境 15項目	pH	BD	CD
	SS	n-ヘキサン抽出物質 (鉱油類, 動植物性油脂類)	
	フェノール類	銅	亜鉛
	溶解性鉄	溶解性マンガン	クロム
	大腸菌群数	窒素含有量	りん含有量
その他 3項目	塩化ビニルモノマー	1,2-ジクロロエチレン	TOC

ウ 生活衛生課関係

【事業の目的・内容】

「公衆浴場法」, 「旅館業法」に基づく浴槽水, 「遊泳用プール衛生指導要綱」に基づく採暖槽水, 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく冷却塔水の水質検査を実施する。

(保健所編 生活衛生施設等の監視・指導の充実 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
公衆浴場法, 旅館業法, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律, 宇都宮市遊泳用プール衛生指導要綱 等	生活衛生課 食品・環境衛生グループ

《実績》利用水検査状況まとめ

検査分類	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
浴槽水	108	216	90	180	96	192
採暖槽水	8	24	6	18	8	24
冷却塔水	24	24	20	20	20	20
計	140	264	116	218	124	236

◇利用水質検査項目一覧[3項目]

pH	濁度	過マンガン酸カリウム消費量
----	----	---------------

エ 保健所総務課関係

【事業の目的・内容】

(ア) 保健所下水検査

「下水道法」及び「工場・事業場排水等自主管理要領」に基づき, 保健所下水の水質検査を月1回実施する。

(イ) 保健所給水栓検査

「水道法」に基づき、保健所の給水栓の水質検査を週1回実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
下水道法, 水道法 等	保健所総務課企画グループ

《実績》保健所総務課関係水質検査実施状況のまとめ

検査分類	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
保健所下水	12	132	12	132	12	132
給水栓	52	260	52	260	52	260
計	64	392	64	392	64	392

◇保健所下水水質検査項目一覧[11項目]

pH	銅	総水銀	アンモニア性窒素
六価クロム	亜鉛	ほう素	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素
鉛	シアン	ふっ素	

◇保健所給水栓水質検査実施項目一覧[5項目]

色	濁り	臭気	味	残留塩素
---	----	----	---	------

オ その他

関係課からの依頼により、臨時検査等を実施した。(環境保全課依頼は、再掲)

	依頼	依頼課	検体	検体数	項目数
1	6月	環境保全課	工場排水	1	2
2	6月	環境保全課	工場排水	3	12
3	7月	環境保全課	工場排水, 臭気	4	4
4	7月	環境保全課	側溝水, 工場排水	9	13
5	7月	環境保全課	工場排水	2	4
6	8月	環境保全課	臭気	2	2
7	8月	環境保全課	工場排水	2	2
8	8月	環境保全課	側溝水, 工場排水	13	21
9	9月	環境保全課	側溝水	2	3
10	10月	環境保全課	工場排水	1	2
11	11月	環境保全課	工場排水	2	4
12	1月	環境保全課	工場排水	4	8
13	2月	環境保全課	騒音	2	2
14	2月	環境保全課	工場排水	4	8
15	3月	環境保全課	河川水	3	6
		計		54	93

(4) 精度管理

試験データの信頼性を確保するためには、試験所の組織的な管理体制の確立(GLP)や、技能試験(外部精度管理)への参加、内部精度管理の実施、分析法の妥当性確認等が必要である。

そこで、技能確認のため外部機関が実施する外部精度管理調査に定期的に参加するとともに、検査業務や機器の点検整備の記録等についての内部点検、検査技術の研鑽等を目的とした内部精度管理を実施している。

ア 外部精度管理

【事業の目的・内容】

(ア) 感染症検査部門

病原体等検査の質を確保するため、平成28年4月から施行された改正感染症法に基づく「検査施設における病原体等検査の業務管理要領」等により、病原体等検査部門責任者（微生物グループ係長）を設置して業務管理を行っている。また、国立感染症研究所などが実施する精度管理調査等に参加し、検査を実施している。

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 施行規則、検査施設における病原体等検査の業務管理要領 平成30年度外部精度管理事業実施要綱	衛生環境試験所 理化学グループ

《実績》

精度管理主催	検 体	検査項目		実施月
厚生労働省 外部精度管理事業 事務局	EQA パネル検体	核酸検出	麻疹・風疹ウイルス	7月
国立感染症研究所 インフルエンザウイ ルス研究センター	RNA陽性 コントロール	核酸検査	抗インフルエンザ薬 耐性検査	9月
国立感染症研究所 インフルエンザウイ ルス研究センター	ウイルス分離 試験用サンプル	ウイルス分離 培養・同定	インフルエンザ ウイルス	9月
厚生労働科学研究 レジオネラ属菌検査 外部精度管理調査	標準菌株	レジオネラ属菌 定量	レジオネラ属菌	10月
厚生労働科学研究 公益財団法人 結核予防会結核研究所 抗酸菌部	結核菌 DNA	結核菌遺伝子型別	結核菌 VNIR解析	11月
厚生労働科学研究 HIV精度管理調査	血清	確認検査	HIV	11月

(イ) 食品検査部門

「宇都宮市食品衛生検査業務管理要領」及び「精度管理の一般ガイドライン」に基づき、検査部門責任者（衛生環境試験所長）を設置して試験検査に係る業務管理に取り組んでいる。

食品については、信頼性確保部門責任者の依頼により、一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所食品衛生事業部の外部精度管理調査室で調製した検体について、検査精度の確認のための検査を実施する。

また、食中毒関連細菌検査については、栃木県試験検査精度管理委員会で実施する精度管理調査に参加し、技能確認を実施する。

(保健所編 食品衛生検査業務管理 参照)

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
食品衛生法第29条第2項, 食品衛生法施行規則, 宇都宮市食品衛生検査業務管理要領 等	保健所総務課 薬事グループ

《実績》

精度管理主催	検体	検査項目		実施月
栃木県 試験検査精度管理調査	菌液模擬試料	細菌検査	菌の分離・同定	9月
一般財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所 食品衛生事業部外部精度 管理調査室	ゼラチン基材	菌数測定	一般細菌数(定量)	7月
	マッシュポテト	菌同定	黄色ブドウ球菌 (定性)	10月
	ハンバーグ	菌同定	大腸菌群(定性)	11月
	かぼちゃ ペースト	残留農薬	クロルピリホス マラチオン	6月
	あん	食品添加物	ソルビン酸	7月
	豚肉ペースト	動物用医薬品	スルファジミジン	10月

(ウ) 環境検査部門

【事業の目的・内容】

水質試験について、栃木県試験検査精度管理委員会で実施する精度管理調査に参加し、技能確認を実施する。

《実績》

精度管理主催	精度管理主催	検査項目		実施月
環境省 環境測定分析統一精度 管理調査	模擬水質試料	水質試験	ひ素	7月
栃木県 試験検査精度管理調査	模擬排水試料	水質試験	クロム含有量 りん含有量	9月

イ 内部精度管理

【事業の目的・内容】

(ア) 感染症検査部門

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行 規則, 検査施設における病原体等検査の業務管理要領 等	衛生環境試験所 理化学グループ

《実績》

目的		検体	検査項目	実施月
細菌	定量試験	血清	結核（QFT）	4月
	定性試験	菌株	A群溶血性レンサ球菌	5月
	定性試験	菌株	腸管出血性大腸菌	5月
	定性試験	冷却塔水	レジオネラ属菌	6月
	定性試験	遺伝子	結核（VNTR）	11月
ウイルス	定量試験	遺伝子	感染性胃腸炎（ノロ，サポ）	4月
	定量試験	遺伝子	麻しん	6月
	定量試験	遺伝子	風しん	6月
	定性試験	遺伝子	伝染性紅斑	7月
	定量試験	遺伝子	季節性インフルエンザウイルス	1月

（イ） 食品検査部門

食品検査部門において、「業務管理要領」及び「精度管理の一般ガイドライン」に基づき、食品添加物の添加回収試験等の内部精度管理を実施している。

理化学的検査では、食品に添加した標準品の回収率を繰り返し求める「繰り返し試験」、微生物学的検査では、食品に添加した菌を検出する「定性試験」及び添加した菌の回収率を求める「定量試験」を実施し、信頼性確保部門責任者に報告する。

（保健所編 食品衛生検査業務管理 参照）

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
食品衛生法第29条第2項，食品衛生法施行規則，宇都宮市食品衛生検査業務管理要領 等	保健所総務課 薬事グループ

《実績》

目的		検体	検査項目	実施月
食品添加物 検査	繰り返し試験	すじこ	発色剤（亜硝酸根）	5月
		魚介乾製品	保存料（ソルビン酸）	6月
		みそ	甘味料（サッカリンナトリウム）	6月
細菌検査	定性試験	弁当・そうざい	E.coli	3月
		弁当・そうざい	黄色ブドウ球菌	3月
	定量試験	牛乳	一般細菌数	3月

（ウ） 環境検査部門

環境検査部門において、標準物質の分析を行うことで、技能確認を実施する。

《実績》

検体	検査項目		検体数	実施月
精度管理物質	ばいじん	鉛	1	6月

ウ 地域保健総合推進事業に基づく関東甲信静ブロック精度管理事業

【事業の目的・内容】

地域における健康危機管理体制確保のための地方衛生研究所の連携協力の推進並びに検査精度の向上を図る。

《実績》

目的	検体	検査項目	実施月
地域保健総合推進事業に基づく 関東甲信静ブロック精度管理事業	健康食品 粉末茶	センノシド 定量	9月

2 調査研究

調査研究事業の概要

【事業の目的・内容】

平常時から技術レベルの維持向上を図るため、多様化、高度化する試験検査に係る検査の迅速化、精度の向上等やモニタリング調査などの基礎的研究を行う。

また、国や県、他の地方衛生研究所等との共同研究に参加し、技術的・専門的な支援のための応用的研究を行う。

《実績》

年度	調査研究の内容	発表先
H28	平成 28 年に宇都宮市内で検出されたノロウイルスの遺伝子解析	栃木県生活衛生関係業績発表会
	甘味料検査における透析補助液の比較検討	
H29	宇都宮市で発生した <i>Escherichia albertii</i> による食中毒事例について	地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部細菌研究部会
		病原微生物検出情報 Vol. 38 No. 8(2017. 8)
	大規模調理施設におけるノロウイルス食中毒事例について	栃木県生活衛生関係業績発表会
	ヒスタミン分析法の検討	
LC MS/MS による農産物中残留農薬等一斉分析試験法の妥当性評価		
H30	夏休み親子教室等の取り組みについて	栃木県生活衛生関係業績発表会
	情報発信事業『食品 Q & A』に関する報告～ホームページへの掲載と閲覧状況の結果報告～	
	ネオニコチノイド系農薬ジノテフランおよびニテンピラム等一斉試験法の検討	

3 研修指導

研修指導事業

【事業の目的・内容】

検査の信頼性向上のため、依頼課が行う検体の採取から搬送、受け渡し、検体の取扱い等に関するマニュアルを作成し、依頼課職員等への技術・支援を行う。

医療機関や食品工場の検査室等民間事業者等への知識・技術の伝達、地域保健衛生分野の学生等の実習受け入れ等を行い、地域保健の推進に関する活動や学習の支援を積極的に行う。

① 依頼課への技術支援（平成 27 年度～）

《実績》

件名	内容	対象者	場所
検体取り違い対策研修	性感染症等検体取り違いマニュアルに沿って説明	保健予防課 2名 食肉衛生検査所 1名 衛生環境試験所 1名	保健所
食品検体採取研修	食品検体採取マニュアルに沿って説明	生活衛生課 5名 衛生環境試験所 1名	食品理化学検査室
環境水等採水研修	環境水等採水マニュアルに沿って説明	環境保全課 2名 廃棄物対策課 4名	環境化学検査室

② 民間機関等への研修指導

《実績》

件名	内容	対象者等	場所
地域保健実習	医学生等への保健衛生及び環境衛生検査についての説明及び実習	新潟大学医学部学生 1名 自治医科大学医学部学生 4名	試験所 2階 臨床検査室
ゆうパックにより検体を送付するために必要な包装責任者研修会	感染症の病原体の輸送事故を防止するための病原体等の包装・運搬講習会	市内医療機関, 登録衛生検査所等 9名	保健所 大会議室

③ 民間機関等への研修指導

《実績》

件名	内容	対象者等	場所
アニサキス症研修会（講師） 獨協医科大学熱帯病寄生虫病学講座 主任教授医師医学博士 千種 雄一	アニサキス症に関する講話及び鮮魚中に寄生するアニサキス(虫体)の採取及び観察	市職員 35名	保健所 大会議室

4 情報発信

情報発信事業

【事業の目的・内容】

市民の食品の安全性や感染症などへの不安解消に資するため、収集・分析した公衆衛生や調査研究に関する情報を関係機関や市民等へ発信する。

市ホームページや広報紙等の活用に加え、出前講座や親子教室等を開催して、わかりやすく迅速な情報発信の機会を拡充する。

《実績》

① イベント等の開催

件名	内容	対象者等	場所	実施日
出前講座 お届けします「衛生と環境の検査のはなし」	衛生環境試験所の業務に関する講話、マイクロスコープ体験、手洗い体験等	栃木県消費生活リーダー連絡協議会 宇都宮支部 22名	ぼぼら研修室	4/24
		地区老人会 13名	知徳館	6/15
		地区老人会 12名	川俣町公民館	9/3
夏休み親子教室 親子で発見！科学実験教室	科学実験、微生物の顕微鏡観察、衛生関係のパネル展示、手洗い体験等	小学3～6年生 親子13組31名	保健所2階 栄養実習室 フロア等	7/27
食品安全フェア (生活衛生課主催)	微生物の顕微鏡観察や衛生関係のパネル展示等	市民680名	ベルモール	8/6
食育フェア (健康増進課主催)	微生物の顕微鏡観察や衛生関係のパネル展示	市民	城址公園	10/14
小学生向け講座 科学体験教室 (各生涯学習センター共催)	科学実験、微生物の顕微鏡観察、衛生関係のパネル展示、手洗い体験等	小学1～6年生 親子14組29名	中央生涯学習センター	8/4
		小学3～6年生 親子15組34名	南生涯学習センター	8/7
		小学3～6年生 28名	横川生涯学習センター	8/22
		小学3～5年生 60名	豊郷生涯学習センター	9/22

② 広報活動等

広報媒体	掲載内容・活用方法
ホームページ更新	試験所の業務内容、検査に関する写真、年報等を掲載 また、市民へわかりやすく情報提供するため、食品Q&Aを追加掲載
パネル展示	写真等で試験検査に関する内容を分かりやすく紹介したパネルを保健所に展示し、来庁者や夏休み親子教室等のイベントで活用